

公開シンポジウム

今こそアクションを！人文社会科学からの発信

主催：人文科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）

開催趣旨

GEAHSS は 4 期目に入り、幹事学協会持ち回り制を導入して新たな歩みを初めている。学協会からの情報発信と学協会の連携を強め、学術・研究・教育分野におけるジェンダー平等に向けた取り組みを推進する。本シンポジウムの第一部では、幹事学協会である日本心理学会の協力により、ジェンダー平等に資する心理学研究の最前線に学び、第二部では、学協会のさまざまな取り組みを共有することにより、グッド・プラクティス基本構想の構築を一步前進させることを目的とする。

プログラム

総合司会・開会挨拶：伊藤公雄（ギース幹事・日本社会学会）

13:30 来賓挨拶 内閣府男女共同参画局長 林 伴子様

幹事学協会挨拶 日本心理学会理事長 坂上貴之様

13:40 第一部 基調講演「ジェンダー・バイアス研究の最前線」

講師：森永康子様（広島大学大学院・日本心理学会）

司会：滑田明暢（ギース幹事・日本心理学会）

14:40 第二部 パネルディスカッション「グッド・プラクティス基本構想の構築に向けて」

コーディネーター：吉原雅子（ギース副委員長・日本哲学会）

- 事例発表 1：性差別やセクハラ防止の取り組み（日本教育心理学会・高橋恵子様）
- 事例発表 2：学問分野におけるジェンダー主流化への取り組み（日本スポーツとジェンダー学会・來田享子様）
- 事例発表 3：研究プロジェクトや学会活動への若手・女性の参加促進の制度（日本文化人類学会・椎野若菜様）
- アンケート結果から：学協会のグッド・プラクティスと今後の課題（ギース幹事／日本哲学会・小島優子）
- 指定討論：和泉ちえ様（日本西洋古典学会）・後藤弘子様（ジェンダー法学会）
- 全体討論

16:55 閉会挨拶：青野篤子（ギース委員長・日本心理学会）

日時：2021年3月28日（日） 13:30~17:00

Zoom による開催

後援：文部科学省・内閣府男女共同参画局

※ 参加無料

※ 事前申し込み必要